

平成 29 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア I 講座 助教
氏名 Name	中田 聡美
専門分野 Academic Field	中国語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	現代中国語におけるモダリティに関する研究
<p>平成 29 年度は、主に以下 2 つのテーマについて研究を行った。</p> <p>(1) “V (了) + 有 + 数量構造” における “有” について “V (了) + 有 + 数量構造” における “有” は明確な意味を持たず、文法的になくとも成立するため、動詞 “有” から文法化の進んだものと考えられる。そこで文法化の観点から、“V (了) + 有 + 数量構造” における “有” について考察を行った。その研究成果を、安徽大学 (中国・合肥) にて開催された「第九届汉语语法化问题国际学术讨论会」(2017 年 10 月 21~22 日) にて、「“有+数量结构” 中 “有” 的语义功能及其语法化」というテーマで発表した。現在はその研究発表の内容をもとに、投稿論文を執筆しているところである。</p> <p>(2) “我 (一人称) + 別 VP”、“你 (二人称) + 不 VP” について 禁止・制止を表す “別” が一人称を主語にとる場合、“不” に近い意味を表すことがあり、また否定を表す “不” が二人称及び聞き手を含む一人称複数を主語にとる場合、“別” に近い意味を表すことがある。そこで視点の観点から、“我 (一人称) + 別 VP” における “別”、“你 (二人称) + 不 VP” における “不” について考察を行った。その研究成果を、中央大学にて開催された「日本中国語学会第 67 回全国大会」(2017 年 11 月 11~12 日) にて、「“別”、“不” における視点と間主観性」というテーマで発表した。</p>	